

# 日本組織培養学会

昭和56年3月1日発行

## 会員通信

第43号

発行責任者

小山秀機(癌研)  
松村外志張(東大・医科研)  
丸野内棟(三愛化成・生命研)  
伴 貞幸(放射研・広島)  
東京都豊島区上池袋1-37-1(〒170)  
癌研究所・生化学部  
電話 03-918-0111 内線2649

### § 日本組織培養学会昭和56, 57年度幹事選挙のご案内

次期幹事選挙を下記の要領で施行いたします。

- (1) 被選挙人名簿および投票用紙を同封します。この名簿は昭和56年1月31日現在、40才未満の会員を対象として作成いたしました。
- (2) 東および西日本から各2名を選び、投票用紙に記入の上、同封の返信用封筒に入れ、下記宛返送して下さい。
- (3) 投票締切日：昭和56年3月15日(消印可)
- (4) 宛先：日本組織培養学会選挙管理委員長 常盤孝義  
〒700 岡山市鹿田町2-5-1  
岡山大学医学部癌研病理部門
- (5) 被選挙人名簿の誤りにより40才以上の方が当選された場合には、次点くり上げにさせていただきます。  
(選挙管理委員長 常盤孝義)

### § 会則整備に関するお知らせ

第50回総会での規約改正に関する討論(会員通信第42号)をふまえて、今後改正のためのスケジュールを以下のようにします。

1. 幹事および規約整備委員会の合同による拡大幹事会で討論し、最終案を作成する。
2. 第51回総会で、最終案を提示する。
3. 会員通信第44号(56年7月末予定)で改正案賛否の投票をおこなう。
4. 第52回総会で報告・承認する。

(幹事長 丸野内棟)

### § 日本組織培養学会第51回研究会のご案内

前号に続いて二度目のご案内を申し上げます。今回は特別講演、海外からの招待講演をプログラムに加えております。会員、非会員を問わずお誘い合せの上、多数ご参加下さい。

1. 会場：岡山県倉敷市美観地区内  
アイビースクエア
2. 会期：昭和56年5月21日(木)～22日(金)
3. 参加および講演申し込み締切：昭和56年3月14日(土)  
参加および講演希望者は別葉4の申し込み票に記入の上、5項の申し込み先へお送り下さい。
4. 抄録原稿締切：昭和56年4月4日(土)

5. 参加申し込み先および連絡先：重井医学研究所

〒701-02 岡山市山田2117 電話0862(82)3113

(世話人) 沖垣 達, (庶務) 山田雅保

6. プログラム：

☆特別講演：「細胞工学」 岡田善雄氏（阪大微研）

☆招待講演予定：Dr. G. Carpenter (Dept. of Biochem.,  
(交渉中) School of Medicine, Vanderbilt Univ.,  
Nashville, Tenn. USA)

☆一般講演：公募

☆シンポジウムⅠ：「成長因子」 オーガナイザー 大野忠夫氏（放医研）  
山根 績氏（東北大）

☆シンポジウムⅡ：「腎培養の問題点」 オーガナイザー 佐藤温重氏（東医歯大）

シンポジウムの内容に関しては、以下それぞれのオーガナイザーから案内があります(次項参照)。

7. 研究会参加費：会員3,500円, 非会員4,000円

8. 懇親会参加費：3,500円

9. 交通：

関東, 関西方面からは新幹線岡山駅で山陽本線下り又は伯備線に乗りかえ, 倉敷駅で下車。

広島, 九州方面からは新幹線新倉敷駅(こだまのみ)で乗りかえ, 山陽本線上りで倉敷駅へ。

倉敷駅から会場へはタクシー450円, 徒歩では大原美術館経由15分程度。

10. 宿泊：前号参照のこと。会場のアイビススクエアがもっとも便利です。

では5月に白壁の町でお目にかかりましょう。

§ 日本組織培養学会第51回研究会シンポジウムの予定討論者の公募

シンポジウムⅠ 「成長因子」

放医研・大野忠夫, 東北大・山根 績

このシンポジウムでは、以下の4つの主演題(各20分)を予定しております。

1. 成長因子, 一般論と血小板由来成長因子(PDGF)について

放医研・大野忠夫

2. がん細胞の成長因子

金沢医大・西川克三

3. Somatomedin 関連ペプチドの精製と作用機作

阪大・加藤幸夫, 鈴木不二夫

4. ヒト二倍体線維芽細胞の無血清培養における成長因子の役割

東北大・菅 幹雄, 星 宏良, 山根 績

成長因子の研究は、我が国では未だ十分に浸透しているとは言い難く、若干のデータをもちながら、発表の機会を得ていない方々も、会員の中におられることと思います。そこで、主演題に関連して、予定討論者を公募致します。この機会を生かし、積極的に発表と討論に参加されるこ

とを期待しております。

公募：予定討論 4題

発表時間 1題8分

締切 昭和56年3月14日(土)

直接、下記へご連絡下さい。

〒260 千葉市穴川4-9-1

放射線医学総合研究所 大野忠夫

TEL：0472(51)2111 内214

なお、4題を越える応募がありましたときは、恐縮ですが、オーガナイザーにご一任下さい。

## シンポジウムⅡ 「腎培養の問題点」

東京医科歯科大・歯・佐藤温重

近年腎の生理学、病理学、生化学、毒性学等の諸領域で、腎の培養が盛んに行われております。そこで培養技法上の、あるいは応用研究上の問題点を集約してみたいと考えております。

現在次の7名のシンポジストを予定しております。

### 1. 分離尿細管を用いた尿細管機能の研究

自治医大・薬理・今井 正

追加討論「セルソーターを用いた腎細胞の研究」

東大・医・薬理・遠藤 仁

### 2. MDCK細胞単層膜のナトリウム輸送

北里大・医・内科・丸茂文昭

### 3. 培養メサンギウム細胞の機能

重井医研・石川康宏

追加討論「糸球体細胞の増殖性」

新大・腎研・木原 達

### 4. 腎初代培養細胞のNa・K ATPase 活性

秋田大・医・生化・田島陽太郎

### 5. 培養腎細胞の相互作用

慶応大・医・腎センター・稲本 元

追加討論「腎細胞培養への期待」

重井医研・附病・高宮治生

これらに加えて、会員からの演題を一般演題と同一形式およびシンポジストへの追加発言という形式で募集いたします。

公募締切：昭和56年3月14日(土)

ご希望の方は、下記へご連絡下さい。

〒113 東京都文京区湯島1-5-45

東京医科歯科大学歯学部第2歯科理工学教室 佐藤温重

電話03(813)6111 内線5150

## § ビブリオグラフィー・ワーキンググループからの活動報告(5)

金沢大・薬 渡辺正己

本ワーキンググループは、ビブリオグラフィーの改善について過去2年間検討を続けてきました。その間改善案の提示をし、会員諸氏のご意見をうかがってきました。その結果、ワーキンググループとしては、現在のビブリオグラフィーは廃止するのが良いとの最終結論に達しました。会員の投票による決定を提案します。

## § ビブリオグラフィー存続可否についての投票

上記ワーキンググループの結論を受けて、幹事会としては会員通信第41号に示されたスケジュールに従い、存続可否について会員の投票により決定することに致します。別葉3の投票用紙の「存続」あるいは「廃止」どちらか一方に○印を付し、幹事選挙用投票用紙と共に同封の封筒に入れて郵送して下さい。

記名投票で、投票総数の過半数にて決定します。無記名は無効です。

締切りは3月15日、消印有効です。

なお、もし現行のビブリオグラフィーが廃止された場合には、とりあえず研究会講演抄録集を定期刊行物として学会活動を続ける予定です。

(幹事長 丸野内棟)

## § 第3回国際細胞生物学会議( ICCB )へ向けて(1)

老人研 三井洋司

第3回 ICCB に向けて、培養学会会員の積極的な協力が要請されている( ICCB 準備委員会事務局長、沖垣達会員による会員通信42号の通信記事)。本学会としても、ICCBの事務局、プログラム委員会と密な連携をとりつつ、会員の方々の意見を反映させて、ICCBに協力・参画していく方針を決め、私がICCB連絡委員をつとめることになりました(第50回大会、総会)。

つきましては、第3回 ICCB (1984年)に、培養学会(又は、会員有志の主活動)としてとりあげることを希望するテーマ名とか、その他参考意見を伺いたく思います。シンポジウム、ワークショップ、ラウンドテーブルディスカッション、サテライトシンポジウム等々の発表形式や提案主旨もできたら添えて、多数の意見をお寄せ下さい。

〒173 東京都板橋区栄町 35-2

東京都老人総合研究所

## § 編集後記

桜の花便りが聞かれるころには、この第43号がお手元にとどいていることと思います。前号とあまり離れていませんので、記事がなく苦勞しました。今号は新聞のおり込み広告のように、別葉が多くなりましたが、重要なものばかりです。目をお通しください。

1980年代の2年目を迎え、いよいよ充実の時代になりました。ガンバリましょう。(H.K)